

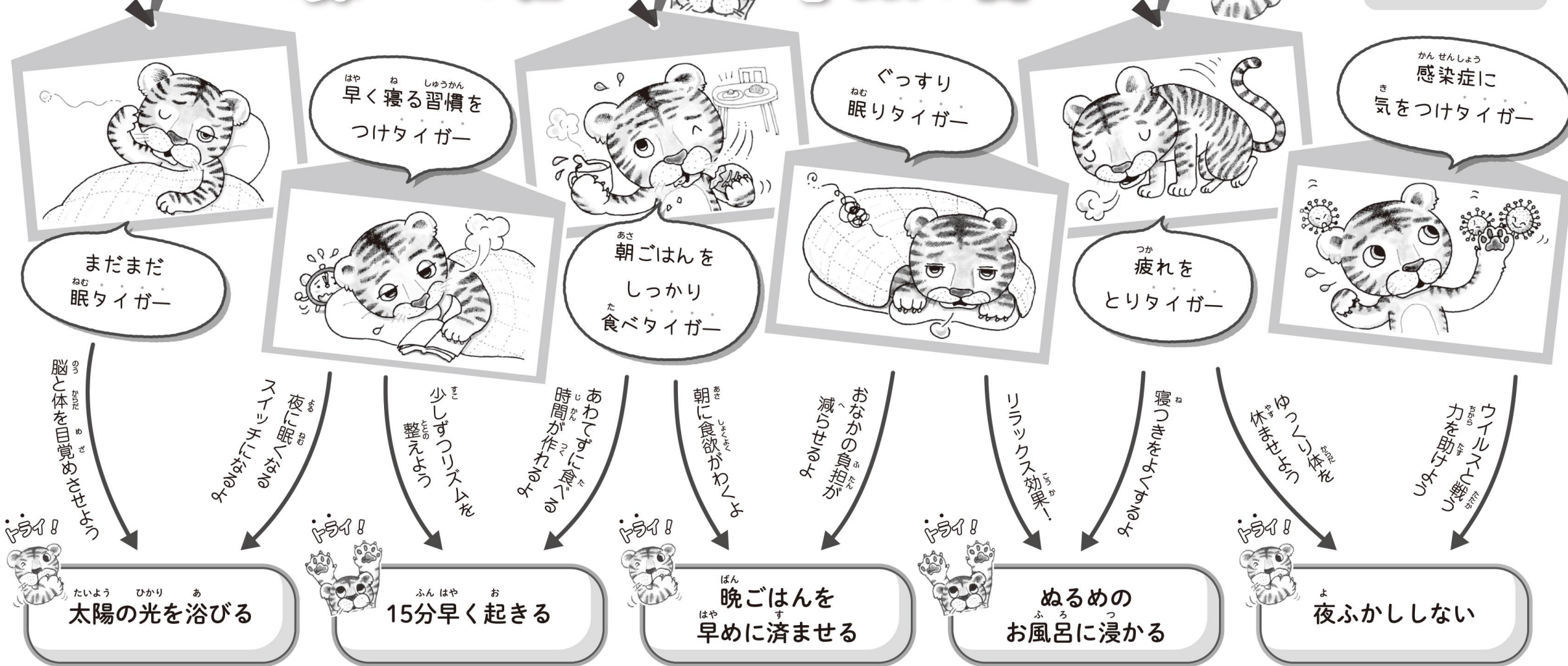
ほしんどがより 1月

川原代小学校
保健室
R4. 1. 12

2022年が始まりました。みなさんは何か目標を立てましたか？
どんな目標もその土台となるのは元気な体と心です。今年もたくさん
体を動かして、モリモリ食べて、たっぷりねむって、元気にすごして
ください。



「元気な1年にトライ！」なら、今日から「トライ！」



おうちの方へ

○健康手帳の返却について

1月に3回目の身体測定を実施します。1月28日（金）に結果を記入した健康手帳を持ち帰りますので、4・5ページを確認していただき押印をして、2月4日（金）までに学校へ持たせてください。

まだまだ
気をつけたい！

感染症

に
負けないために



手洗い



せっけんをつけて
洗いぬいで

マスク



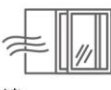
清潔なものを
使おう

運動



がんばりすぎ
ない程度でOK

換気



寒いけど…
忘れずに！

学校保健委員会だより

川原代小学校
R4. 1. 12

「いのちの誕生とその大切さ～自分らしく生きる～」

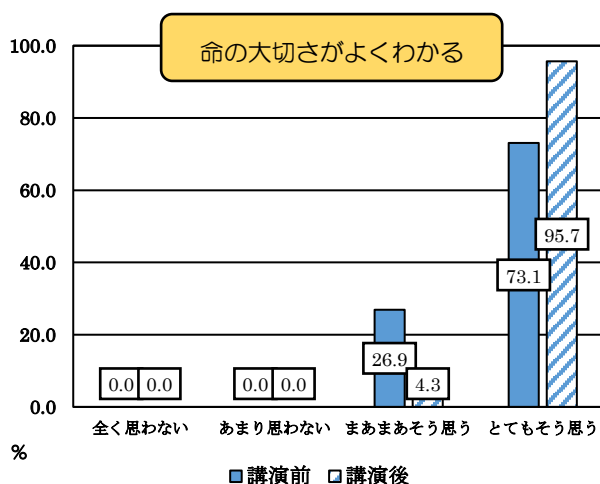
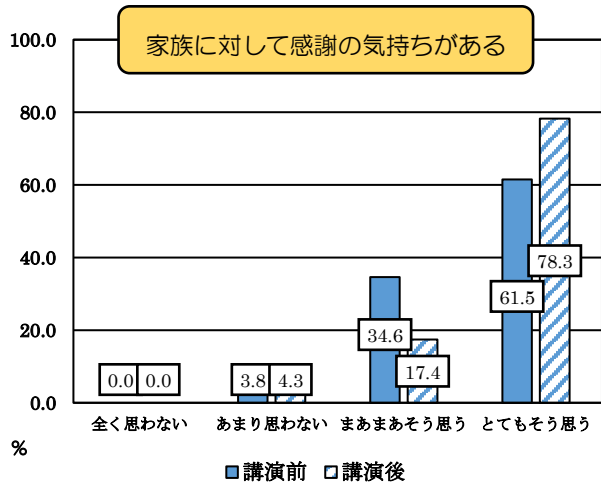
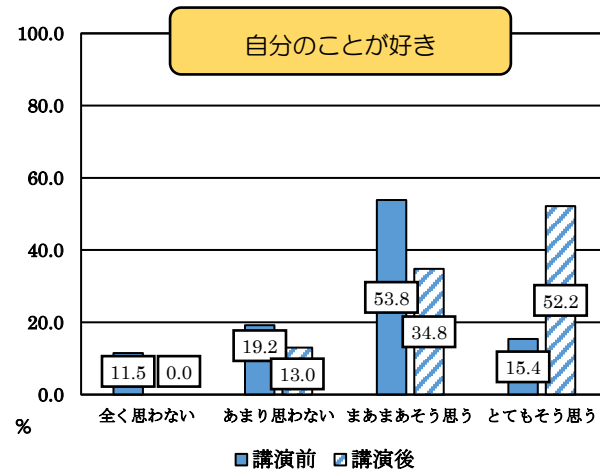
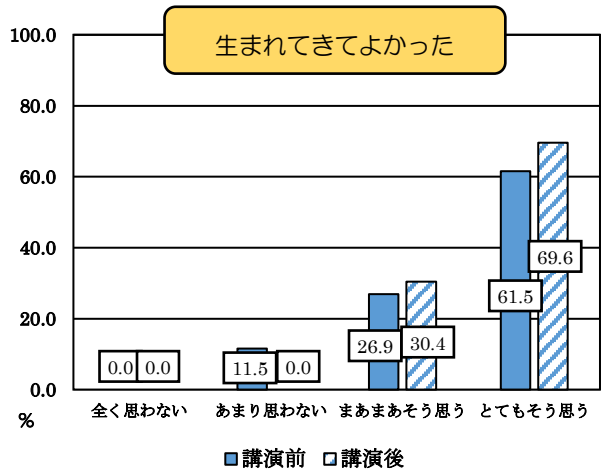
龍ヶ崎済生会病院 産婦人科医師 陳 央仁 先生

12月22日(水)、第2回学校保健委員会を開催しました。今年度は龍ヶ崎済生会病院 産婦人科医師 陳央仁先生を講師としてお招きし、「生(きる)教育講演会」を行いました。

5・6年生を対象に「生命の誕生とその大切さ ～自分らしく生きる～」と題して命の授業をしていただきました。

子どもたちは、目を輝かせながらおなかの中の赤ちゃんの映像を見たり、陳先生の話真剣に聞き入ったりしていました。これまでたくさんの赤ちゃんをとりあげてきた陳先生の「愛されるために生まれた」というメッセージは児童達の胸に届き、多くのことを感じとったようです。

～アンケート結果～



～陳先生の講演会を聞いた感想～



最初のころは、あまり自分のことが好きではなかったけれど、今日講演で「生まれてくることは、総理大臣になるより難しい」とわかって自分のことが好きになった。これからもっと命を大切にしていきたい。

お母さんが大変な思いをして生んでくれた命なので大切にしたい。自分が誕生したのはすごいキセキなんだと思った。先生に教わったことを家族にも教えたい。



生まれる時に、亡くなってしまおう子もいる中で、自分が生まれることができたのは、キセキだと思った。



誕生日は自分のための日だと思っていただけで、「お母さんが頑張ってくれた日」でもあることがわかった。次、自分の誕生日がきたら「生んでくれてありがとう」と言いたい。

どんな強い男の人でも失神してしまうほど陣痛はとても痛いことに驚いた。赤ちゃんを産むのにお母さんがすごく大変だったと知った。これからは、命をもっと大事にしようと思う。

楽しいことがたくさんあって、生まれてきてよかったと思った。私は多くの人に支えられて生きてきたので、大人になったら恩返しをしたい。

～保護者の方からも感想をいただきました～

我が子と初めて対面した時に「生まれてきてくれてありがとう。あなたに会いたかったよ。」と涙を流したことを思い出し、今でも涙があふれます。今日の講演会に参加した我が子も「こんなに愛されて生まれてきた」という事に気づいてくれたらうれしく思う。



陳先生のお話は、小学生が受け止めやすいお話でとてもよかった。これから先の性教育のために1番大切な基礎だと感じた。家庭でも今日の講演で教えていただいた事を何回も繰り返し伝えて、自分も友達も大切にできる子に育てて行って欲しい。